学校番号	122

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解現代文Ｂ　改訂版（三省堂）						
副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版）、常用漢字オールクリア別冊徹底トレーニングノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年で学習した内容をさらに発展させ、より深く作品を理解しましょう。
・作品の理解を深めたうえで、意見や考えをことばや文字で表現できる力を養いましょう。
・作品内の語句などの意味を理解し、知識を増やしてゆきましょう

２　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって，国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させることができている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	取組みの状況 提出物 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	取組みの状況 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 授業における行動	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想1　葉桜の頃	○筆者と息子が、深まりゆく春の中で発見したことを読み味わう。 ○話題についての描き方をとおして、筆者の感じ方や思いを捉える。	○			◎	○	a:筆者や息子が目にしている春の情景のひとつひとつを、深く想像しようとしている。 d:筆者が春の植物にあたたかいまなざしを向けていることを読み取っている。 e:主要な常用漢字の音訓を正しく理解し，正しく書いている。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
	小説1　水かまきり	○登場人物の微妙な心の移り変わりを読み味わう。 ○小説における擬声語などの表現技法について理解を深める。	○			◎	○	a:登場人物同士の会話や心情表現の背後にあるそれぞれの思いに興味をもち、それがどういうものか、知りたいと思う。 d:会話と地の文をとおして、擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心の動きを理解している。 e:副詞の役割を理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
	詩　汚れつちまつた悲しみに	○詩に親しむ。 ○詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ○「悲しみ」とは何なのか、想像をめぐらせながら音読し、詩の内容と韻律を深く味わう。	○	◎	○		○	a:さまざまな表現形式やそれぞれの詩の内容のおもしろさを理解しようとしている。 b:詩独特のリズム・内容に注意しながら朗読できる。 c:詩についての鑑賞文が書ける。 e:詩特有の技法を理解する。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
2学期	評論1　コンコルドの誤り	○人間がその行動や思考において「進化」から外れた「誤り」を犯すことについて考える。 ○具体例を整理し、論の展開に従って人間の行動や思考に関する筆者の考えを理解する。	○			◎	○	a:文章の題名「コンコルドの誤り」に象徴されているものが何であるかを、具体例を通じて捉えようとしている。 d:「コンコルドの誤り」とはどのような思考パターンであるのかを具体例と結びつけて理解し、説明している。 e:接続の表現について理解し、正しく使うことができる。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
2学期	小説2　ナイン	○社会の変容に伴う人間関係の変化と、時代を超えた信頼や友情について考えを深める。 ○登場人物の関係を捉え、言動の背後にある心の動きを読み取る。	○			◎	○	a:小説の中に描かれた友情や信頼感について考えを深めようとしている。 d:登場人物同士がもつ友情や信頼など、心の内に秘められたそれぞれの思いを捉え、地域と人との関わりについても理解を深めている。 e:時間軸に沿って小説の構成を捉えることができている。可能を表す表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応

	随想2　前の駅出ました	○日常生活の中での「視点の切り替え」の重要性について考えを深める。 ○二つの具体例を比較し、その違いと共通点を捉えることを通じて文章の主題を的確に理解する。	○		◎	○	○	a:日々の日常生活を、今までとは違った視点で見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考えようとしている。 c:本文の着眼の仕方や発想を参考に、日々の日常生活について考えたことを文章にまとめている。 d:日々の生活の中の何気ないことを、視点の切り替えによって新たなものとして捉えることができることを理解している。 e:接続の表現について理解し、正しく使うことができる。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
3学期	小説3　こころ	○「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて考えを深める。 ○場面や時間の推移に注意して構成や展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。	○	○		◎	○	a:小・中学校を通じて過去に読んだ夏目漱石の作品を思い起こし、筆者と作品に関する興味をもち、内容への関心を深めている。 b:「こころ」の内容を踏まえたうえで、「私」と「K」との関係について自分の考えを深め、発展させている。 d:登場人物それぞれの置かれた状況や行動、心情について分析し、自分なりに主題に関する理解を深め、整理している。 e:主要な漢語の二字熟語や同音異義語の意味を理解している。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応
	評論2　持たないという豊かさ	○真の豊かさとは何であり、それを手に入れるためにはどうすればよいのか考える。 ○具体例をあげる意図を明らかにし、筆者の主張と根拠を読み取る。	○			◎	○	a:物を所有することが本当に豊かなことなのか、筆者の主張をとおして考えようとしている。 d:所有しないこと、物を捨てることの中にこそ暮らしの豊かさを見いだしていこうとする、筆者の主張の中心を理解している。 e:可能を表す表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 記述の観察 定期考査 授業ノート 問題集 発問への反応

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。